

第 1 節 営繕業務

1 営繕業務

営繕業務は、知事部局及び教育庁の依頼に基づき実施する県有建築物の新築・増改築と、県が保有する512施設、延べ床面積約2,141千㎡のうち、349施設、延べ床面積約1,713千㎡について行う維持修繕等に大別できます。(数値は、いずれも平成20年度末現在。)

このうち、営繕課では、新築及び増改築等の業務を取り扱っております。

これらの工事に関する調査・設計・工事監督等を通じ、営繕課と各地域振興局建設部が連携をとりながら、安全で安心して利用できる県民共有の財産の整備を図っております。

[完成施設の紹介] 矢島高等学校



矢島高等学校 外観

[建設場所] 由利本荘市矢島町元町字大川原地内

[竣工] 平成21年2月

[計画概要] 鉄筋コンクリート造一部木造2階建 ほか 延べ床面積 約5,380㎡

[施設の特徴]

鳥海山を望み、子吉川が流れる恵まれた環境を生かした伸びやかな建築群をイメージした配置となった中高連携校です。

ハイサイドライトによる採光・換気・通風、太陽光と風力を利用したハイブリッド外灯の設置等、エコと省エネ等の環境に配慮した施設としました。

2 重点的な取り組み

営繕工事の技術管理業務を通じて、県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民が活用できると共に多様なニーズに対応した建築物であるために、次のような基本事項を踏まえた取り組みを実践しております。

- 県民に親しまれる建築物
 - ・ 街並みや周辺環境と調和した建築計画。
- 利用者にやさしい建築物
 - ・ 地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進。
- 環境にやさしい建築物
 - ・ 自然エネルギー(地中熱、雪冷房、太陽熱等)、雨水、地下水の利用。再生資材の活用。
- 県産材を活用した建築物
 - ・ 秋田杉に代表される県産木材を活用し、公共建築物の木造化、木質化を推進等。
- 安全で安心して使える建築物
 - ・ 構造上、防災上の安全性の他に、使用材料の安全性の確認。
- 広報・広聴の充実
 - ・ 美の国あきたネットを活用した発信情報の充実。

[完成施設の紹介]鷹巣技術専門校



[建設

訓練棟

[竣工] 平成20年9月

[計画概要] 木造2階建 ほか 延べ床面積 約5,500㎡

[施設の特徴]

西に綴子小学校、北に秋田杉が林立した騒音の少ない住宅地に位置し、恵まれた自然や地域環境で教習や実習が行える技術専門校です。

建物は県産材利用推進のため秋田杉をふんだんに活用し、管理棟及び民間訓練棟は構造体に杉の大断面集成材を使用した木造準耐火建築物としました。

第 2 節 営繕関係事業

1 平成21年度営繕工事の概要と平成20年度営繕工事の事務依頼実績

平成21年度に営繕課が知事部局及び教育庁から事務の依頼を受けて実施する予定の受託事業は、延べ27件、年度総工事費約9,729百万円の見込みです。

これは、前年度(事務依頼ベース)に比べて件数で約113%、年度工事費で約243%になります。

機関名	平成21年度当初		平成20年度		対前年度比較	
	件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費
	(件)	(千円)	(件)	(千円)	%	%
知事部局	19	3,833,871	16	1,096,573	119%	350%
教育庁	8	5,895,266	8	2,911,097	100%	203%
総計	27	9,729,137	24	4,007,670	113%	243%

(平成21年3月末現在)

2 平成21年度主要工事の概要

平成21年度に継続中又は発注予定の主な事業は次のとおりです。

こども総合支援エリア療育機関整備事業 こども総合支援エリア特殊学校推進事業 建設地：秋田市 構造規模：RC造2/0 他 約28,000㎡ 工期：H20～H21	地方道路交付金事業 (秋田空港立体駐車場建築工事) 建設地：秋田市 構造規模：S造5/0 約23,000㎡ 工期：H20～H22
北秋田地区統合高校(仮称)整備事業 建設地：北秋田市 構造規模：RC造3/0 約16,000㎡ 工期：H20～H22	湯沢地区統合高校(仮称)整備事業 建設地：湯沢市 構造規模：RC造6/0 約15,000㎡ 工期：H20～H22

(平成21年3月末現在)

県産材活用の事例

(矢島高等学校は、教室がある2階を木造とし、構造部材をそのまま表しています。)



矢島高等学校 校舎棟

3 事業紹介

(1) こども総合支援エリア整備工事



外観パース

[建築場所] 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢地内

[竣工予定] 平成22年3月

[計画概要] 鉄筋コンクリート造 2階建 ほか 延べ床面積 約 28,000㎡

[施設の特徴]

「秋田県こども総合支援エリア(仮称)基本構想案」に基づき、単に既存施設の補完や統合・整備にとどまらず、医療と教育の連携による総合支援の提供や自立・共生・社会との交流などを視野に入れた、これまでにない全く新しい環境を提供することを目指して計画されました。

バリアフリーを徹底し、全ての利用者が安心・安全に利用できるよう配慮し、利用者のこころの拠り所となるよう明るく楽しく清潔で、また、木材を中心に県材産を有効に活用し秋田らしさを表現するとともに、やさしさとぬくもりのあるデザイン計画としています。

(2) 湯沢地区統合高校(仮称)整備事業



外観パース

[建築場所] 湯沢市湯ノ原地内

[竣工予定] 平成23年3月

[計画概要] 鉄筋コンクリート造 6階建 ほか 延べ床面積計 約 15,000㎡

[施設の特徴]

湯沢北高校と湯沢商工高校が発展的に統合し、普通科・総合ビジネス科・工業技術科から構成される新統合高校は、長い間、地域に根付いた2校の伝統を引き継ぎつつ、特色ある教育施設としてふさわしい校舎を実現するため「緑豊かな学舎の再生」、「時代の変化に追従できる施設」、「生徒にやさしい施設」、「総合的に地域の核になる施設」を基本コンセプトに計画されました。

校舎は、周辺施設及び前面道路からの景観に配慮し、周辺環境にあまり圧迫感を与えないよう、道路に面する壁面の長さをできるだけ抑えると共に、校門から生徒昇降口までを直線的に、かつ見通しの良い位置に配置し、校舎としての正面性を強調し、外部に対しても開放感が感じられる配置計画としています。